



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ファイバークエート 上場取引所 東 札  
コード番号 9450 URL https://www.fibergate.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪又 将哲  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 濱渦 隆文 TEL 011(204)6121  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 2024年3月12日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有 (四半期決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績 (2023年7月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	5,806	11.6	1,098	10.8	1,117	13.9	731	8.2
2023年6月期第2四半期	5,203	13.6	991	35.1	981	36.5	676	40.5

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 741百万円 (9.8%) 2023年6月期第2四半期 674百万円 (40.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	35.97	35.89
2023年6月期第2四半期	33.15	33.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	13,358	5,123	37.8
2023年6月期	12,764	4,758	36.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 5,052百万円 2023年6月期 4,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年6月期	—	5.00	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,710	7.1	2,530	9.0	2,520	10.0	1,680	13.3	82.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の連結業績予想の記載を省略して  
おります。詳細は、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に  
関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	20,591,200株	2023年6月期	20,591,200株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	322,207株	2023年6月期	181,172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	20,343,503株	2023年6月期2Q	20,399,456株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年2月15日（木曜日）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。  
当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載いたします。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
2024年6月期 第2四半期	5,806	1,098	1,117	731	35.97
2023年6月期 第2四半期	5,203	991	981	676	33.15
前年同期比	602	106	136	55	2.82
前年同期増減率(%)	11.6	10.8	13.9	8.2	8.5

当第2四半期連結累計期間(2023年7月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、外国人観光客の増加、各種イベント開催の再開や人手不足による企業のDX化の加速等、個人消費や設備投資が増加傾向にあります。

このような状況下で当社グループは中期ビジョン実現のためStep1「すべての施設にWi-Fiを」、Step2「通信・再エネが作る未来インフラの実現」の2つのステップを軸に経営目標の達成に取り組んでまいります。

ホームユース事業におきましては、引き続き受注は堅調に推移しており、サービス提供戸数は順調に増加しております。また、ネットワークカメラに代表されるクロスセルについても積極的な営業展開により受注は順調に増えております。さらに顔認証・インターホン対応システムである「FGスマートコール」のサービス提供も本格化しており、第3四半期以降の業績への貢献も期待できます。

一方で回線利用料のコスト増加や営業体制強化による人件費や販売費の費用面についても増加傾向であります。

以上の結果、ホームユース事業は売上高5,086百万円(前年同期比13.0%増)、セグメント利益1,482百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

ビジネスユース事業におきましては、新型コロナウイルスによる影響の沈静化により、商業施設、介護施設や宿泊施設向けのWi-Fi等の受注が増加傾向にあります。当第2四半期連結会計期間においては地方競馬場や国立大学病院へのサービス提供を開始いたしました。

子会社である株式会社FG-Labにおいて得意先ごとの個別要望に応じた機器の開発案件に関する売上も堅調に推移しております。

また、案件の大型化、Wi-Fi利用用途の広がりを受け、回線利用料のコスト増加や営業体制強化による人件費増加はあるものの利益率は増加傾向にあります。

以上の結果、ビジネスユース事業は売上高683百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益154百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセットが保有する新世代SDGsエコロジーマンションであるReunir Gracias川口の賃貸収入等があるものの、当第2四半期時点では不動産の販売はなく、新規の販売用不動産の取得に伴う諸費用や管理費用の負担がありました。

以上の結果、不動産事業は売上高8百万円(前年同期比55.9%減)、セグメント損失2百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

その他の事業におきましては、東神楽町複合施設に対して自家発電自家消費型太陽光発電システムの導入に関する売上の計上がありました。また株式会社オフグリッドラボの研究開発費等の費用負担がありました。

以上の結果、その他事業は売上高27百万円(前年同期比983.4%増)、セグメント利益13百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,806百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益1,098百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益1,117百万円(前年同期比13.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益731百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減(%)
総資産 (百万円)	12,764	13,358	4.7
純資産 (百万円)	4,758	5,123	7.7
自己資本比率 (%)	36.8	37.8	2.7
1株当たり純資産額 (円)	230.12	249.29	8.3

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ594百万円増加し13,358百万円となりました。これは、流動資産が183百万円、固定資産が410百万円増加したこと等によるものであります。

流動資産の増加は、現金及び預金が381百万円減少したものの、商品が439百万円、販売用不動産が110百万円増加したこと等によるものであります。固定資産の増加は主に当社通信サービス提供用の通信設備が408百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ229百万円増加し8,235百万円となりました。これは、長期借入金(1年内返済含む)が137百万円、契約負債が165百万円減少したものの、買掛金が419百万円、短期借入金が300百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ365百万円増加し5,123百万円となりました。これは自己株式が168百万円増加したものの、利益剰余金が527百万円、非支配株主持分が9百万円増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から381百万円減少し、2,001百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,053百万円(前年同期は955百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益1,093百万円、減価償却費764百万円、仕入債務の増減額379百万円等による資金の増加があった一方で、棚卸資産の増減額554百万円、契約負債の増減額165百万円、法人税等の支払額401百万円等による資金の減少があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,206百万円(前年同期は862百万円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出1,171百万円等による資金の減少があったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は230百万円(前年同期は464百万円の支出)となりました。これは短期借入金の増減額300百万円、長期借入れによる収入400百万円による資金の増加があった一方で、長期借入金の返済による支出537百万円、配当による支出204百万円、自己株式の取得による支出188百万円による資金の減少があったためであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に発表しました「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（連結業績予想）

（単位：百万円）

	2023年6月期（実績）	2024年6月期（予想）	増減率（％）
売上高	12,795	13,710	7.1
営業利益	2,320	2,530	9.0
経常利益	2,290	2,520	10.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,482	1,680	13.3

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,382	2,001
売掛金及び契約資産	1,803	1,837
商品	635	1,075
販売用不動産	655	765
仕掛品	0	—
貯蔵品	0	0
その他	87	69
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	5,559	5,743
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6	37
工具、器具及び備品(純額)	9	15
通信設備(純額)	6,544	6,953
建設仮勘定	3	—
有形固定資産合計	6,565	7,006
無形固定資産		
ソフトウェア	57	71
ソフトウェア仮勘定	21	18
無形固定資産合計	79	89
投資その他の資産		
投資有価証券	51	51
敷金	35	46
繰延税金資産	472	420
破産更生債権等	0	0
その他	1	1
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	559	518
固定資産合計	7,203	7,614
繰延資産		
創立費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	12,764	13,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	633	1,052
短期借入金	300	600
1年内返済予定の長期借入金	1,096	1,146
未払法人税等	515	409
契約負債	1,638	1,473
賞与引当金	86	87
株式報酬引当金	5	0
その他	409	329
流動負債合計	4,685	5,100
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	3,226	3,038
退職給付に係る負債	44	46
固定負債合計	3,320	3,134
負債合計	8,005	8,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	426	423
利益剰余金	3,963	4,490
自己株式	△188	△356
株主資本合計	4,694	5,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
株式引受権	19	19
非支配株主持分	42	51
純資産合計	4,758	5,123
負債純資産合計	12,764	13,358



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,203	5,806
売上原価	2,572	2,975
売上総利益	2,631	2,831
販売費及び一般管理費	1,639	1,732
営業利益	991	1,098
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	—	26
保険解約返戻金	2	—
ポイント収入額	2	3
その他	0	2
営業外収益合計	6	31
営業外費用		
支払利息	15	12
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	16	13
経常利益	981	1,117
特別利益		
固定資産売却益	24	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
固定資産除却損	17	23
特別損失合計	17	23
税金等調整前四半期純利益	988	1,093
法人税、住民税及び事業税	260	300
法人税等調整額	52	52
法人税等合計	312	352
四半期純利益	675	741
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	676	731

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	675	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	674	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	731
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	988	1,093
減価償却費	654	764
のれん償却額	10	—
株式報酬費用	7	11
固定資産売却損益(△は益)	△24	—
固定資産除却損	17	23
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	0
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△32	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	2
受取利息	△0	△0
支払利息	15	12
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△94	△34
棚卸資産の増減額(△は増加)	△524	△554
仕入債務の増減額(△は減少)	215	379
契約負債の増減額(△は減少)	△168	△165
為替差損益(△は益)	0	△1
その他	22	△65
<b>小計</b>	<b>1,092</b>	<b>1,467</b>
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額	△123	△401
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>955</b>	<b>1,053</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△1,101	△1,171
有形固定資産の売却による収入	254	—
無形固定資産の取得による支出	△15	△20
敷金の差入による支出	△3	△14
その他	0	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△862</b>	<b>△1,206</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	285	300
長期借入れによる収入	128	400
長期借入金の返済による支出	△734	△537
社債の償還による支出	△50	—
リース債務の返済による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	—	△188
配当金の支払額	△91	△204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△464</b>	<b>△230</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	1
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△373</b>	<b>△381</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,303	2,382
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,930</b>	<b>2,001</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,501	680	19	5,201	2	5,203	—	5,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,501	680	19	5,201	2	5,203	—	5,203
セグメント利益又は損 失(△)	1,389	116	△2	1,503	△1	1,501	△509	991

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△509百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,086	683	8	5,778	27	5,806	—	5,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,086	683	8	5,778	27	5,806	—	5,806
セグメント利益又は損 失(△)	1,482	154	△2	1,634	13	1,647	△548	1,098

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△548百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。